

# Book Review

## 『モラルの起源 実験社会科学からの問い』

著者 亀田達也 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

岩波新書  
760円



### 1 社会を支える「人間の本性」 平等な分配が危機を回避

評者 井手英策 (慶應義塾大学教授)

かめだ・たつや 1960年生まれ。  
東京大学大学院社会学研究科修士課程修了。米イリノイ大学で心理学の博士号取得。著書に「合議の知を求めて」など。

利他性、共感、モラル、これらの心と関わる要素を抜きにして、人間の経済活動や社会のあり方を語ることはできない。本書は、実験社会科学の手法と豊かな知見を手がかりに、「人の社会」を支える「人間の本性」に迫ろうとする一冊だ。ただ示された事実を追跡するだけでも、本書はさまざまな発見と驚きに満ちあふれている。例えば、ハチの世界では集団的な

意思決定が行われ、集合知さもが作り上げられている。チスイコウモリは、人間的ともいべき、恩を持つ恩に報いるような信義に厚い行動を取る。あるいは、マウスの間でさえ共感は成立し、他の痛みを共有しあっている。僕たち人間の社会でしか観察されないとと思っていたさまざまなかんと関係する現象が、自然界にも数多く存在していることに気づかされる。

### 2 Book Review

## 『模倣の経営学 実践プログラム版』

著者 井上達彦 (早稲田大学商学学術院教授)

日経BP社  
2000円



### 2 良い結果をもたらす 創造的模倣の手順 評者 加護野忠男 (甲南大学特別客員教授)

いのうえ・たつひこ 1968年兵庫県生まれ。横浜国立大学経営学部卒業。神戸大学で博士号。広島大学社会人大学院助教授などを経て、2008年から現職。著書に『プラックスワンの経営学』など。

著者の前著「模倣の経営学—偉大なる会社はマネから生まれる」の大幡な増補版である。前著では、ビジネスの世界における独創的なイノベーションは、全くのゼロから生み出されるのではなく、上手な模倣から生み出されるものが多いということが明らかにされ、これを著者は模倣のパラドクスと呼ぶ。前著では模倣的に論じられた。著者は「模倣は独創の母」だともいう。

自然界から人間の世界に目を転じても、うなづかされることが多い。なぜ人間は集団や群れを形成していくのだろう。どうして人間と犬は良好な関係を築けてきたのか。他者へのおもんばかり、情けが生み出す共感と結婚詐欺師が相手の心に生み出す共感とはいったいどこが違うのだろ。これら一つ一つの疑問が脳やホルモンの機能とも関係づけられるが、明快に説明されていく。

だが、本書の面白さは、こうした事実の解説にとどまらない。筆者は、感情的で、ある種の一体感に近い他者への共感(情動的共感)と、自分と他者を区別し、相手の視点に立ったときに生じる共感(認知的共感)の違い、後者の重要性を説く。また、社会特性による違いは留保しつつも、市場経済化の進んだ先進国では平等な分配が支持を得やす

いという。さらには、この平等な分配は不確実性を統計的に減らすリスクヘッジの装置であり、それが狩猟採集社会から近代社会にいたるまで歴史貫通的に観察されるともいう。これらの指摘はすべて説得的だ。だが、あるがゆえに、読後に暗澹たる気分に襲われずにはいられない。

いまの日本では、所得格差や階層の固定化によって相手と視点を共有することが難しくなりつつある。そして、平等な分配への関心が薄れ、社会保障や教育、税を通じた再分配機能も劇的に弱まっている。こうして、平穏な分配への関心が薄れ、社会経済の構造をどう構築していくのか。それとも「人の社会」から逸脱・乖離なのか。

著者は、「共通基盤の発見」の重要性を説く。この共通基盤をどう構築していくのか。私たち政策科学者に突きつけられた問いは重く、厳しい。

著者のユニークな貢献は、そうなる理由を理論的に論じたうえで、そのための方法を具体的に明らかにしたことである。著者は、模倣には2種類のものがいるという。より良い結果を生む模倣とそうではない模倣である。より良い結果を生む模倣を著者は創造的模倣と呼ぶ。前著では創造的模倣が良い結果を生む理由が論じられた。本書では、創造的模倣の手順が示され、それに沿って創造的模倣の実践のための具体的な方法や留意点が、分かりやすく解説されている。本書は創造的模倣のための手順書といえるかもしれない。

模倣者だと揶揄されているこの企業は強く、模倣をしなくなつた後の企業は弱くなつてしまつことが多い。模倣できるといふところに重要な能力が隠されているのかもしれない。模倣の能力こそ、今はやりのオーピンノバーションを支えるものかもしれない。模倣は恥すべきもので、独創を目指すべきだと思いついたい。エンジニアや経営者に読んでいただきたい一冊である。

書評欄の書籍の価格は本体価格です。

2017.5.23

2017.5.23

**有斐閣** 新刊案内  
(定価は税込)  
東京・神田・神保町2/Tel:03-3265-6811  
<http://www.yuhikaku.co.jp/>

## 派遣労働という 市場と組織の 隙間

島貴智行著  
A5判 4300円+税

制度改革等にも促される形で増加傾向にある派遣労働者。派遣労働に従事する人々は、分離した指揮命令関係と雇用関係のもと、いかなる困難に直面し、それをどう乗り越えようとしているか。

質的調査で当事者視点に迫りつつ、「仕事の質」概念によって、その多様な側面を総合的に検討する。



## 2016年改正 新しいマンション 標準管理規約

浅見泰司・安藤至大・親泊哲・笠谷雅也・福井秀夫・村辻義信・吉田修平著  
A5判 2400円+税

2016年3月に改正されたマンション標準管理規約について、国土交通省での改正審議に関わった学者、実務家、立案担当官が改正のポイントを詳しく解説する決定版。600戸以上にのぼる分譲マンション管理に携わる実務家、管理組合役員等に必携の書。



## ここから始める政治理論 関与と越境

田村哲樹・大著●日本企業再生の論理  
に低迷してきた原因は、企業戦略や組織のあり方と  
いう表面的な問題ではなく、経営を預かる人々によ  
く説く。具体的な事例を交えながら、リベラリズム  
などの概念を学ぶ。 (有斐閣ストラテジー) 一九〇〇円+税

A5判 四〇〇円+税

◎図書目録送呈◎

エコノミスト

2017.5.23

59

58